

アイスランド 溶岩流出

©NASA

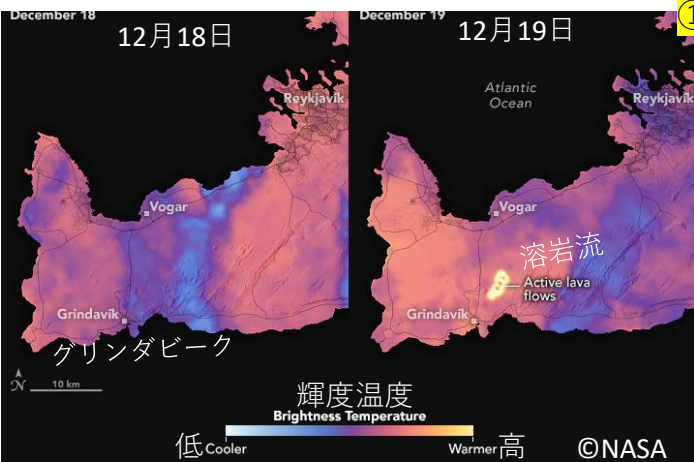
①-2

11月からアイスランドのレイキャネス半島では地震が多発し多くの被害も発生していました。何時溶岩が噴火するのかと心配されていました。

12月18日、半島のグリンダビークの北東約4km地点の新たな亀裂(きれつ)から溶岩が流出し始めました。11月から同町の4000名の方は避難していました。多くの関係報道がありました。

NASAの「earthobservatory」サイトは「アイスランドの噴火」と題した記事内で、「NOAA-20」衛星観測の温度データを公表しました。今回の溶岩流出場所が鮮明です。①

現在のGoogle地図は「グリンダビークで火山噴火」という表示をしています。② センチネル1観測データにマークしました③。アイスランド気象局のサイトではフィンランドのICEYE衛星観測データを用いて溶岩流出場所の詳細な説明をしています。④



©NASA

https://earthobservatory.nasa.gov/images/152227/iceland-erupts?utm_source=TWITTER&utm_medium=NASAEarth&utm_campaign=NASASocial&linkId=256290784



©AFP/Viken Kantarci

<https://pbs.twimg.com/media/GB5KD7OWUAAuaj?format=jpg&name=medium>

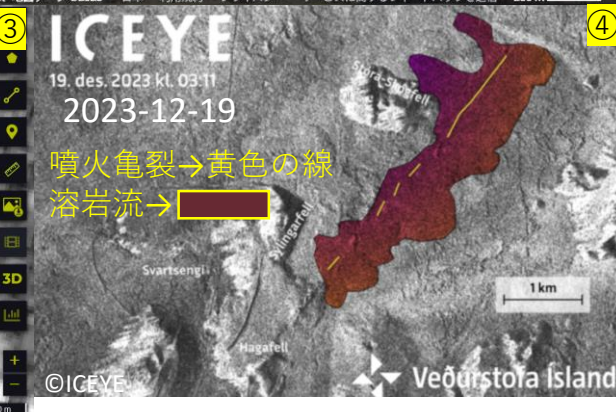
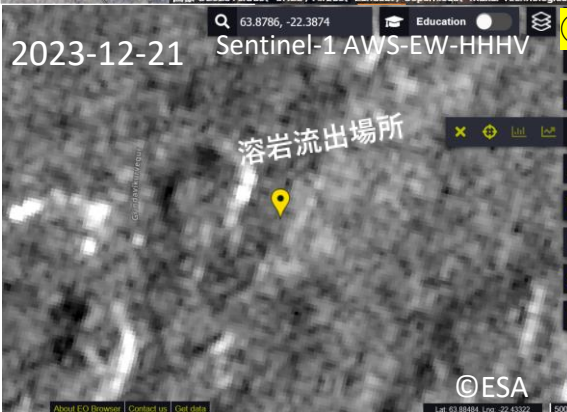


©アイスランド気象庁

Google地図



②



④

天候に影響されずに電波で観測するデータは災害時に活躍します。

<https://en.vedur.is/about-imo/news/a-seismic-swarm-started-north-of-grindavik-last-night>